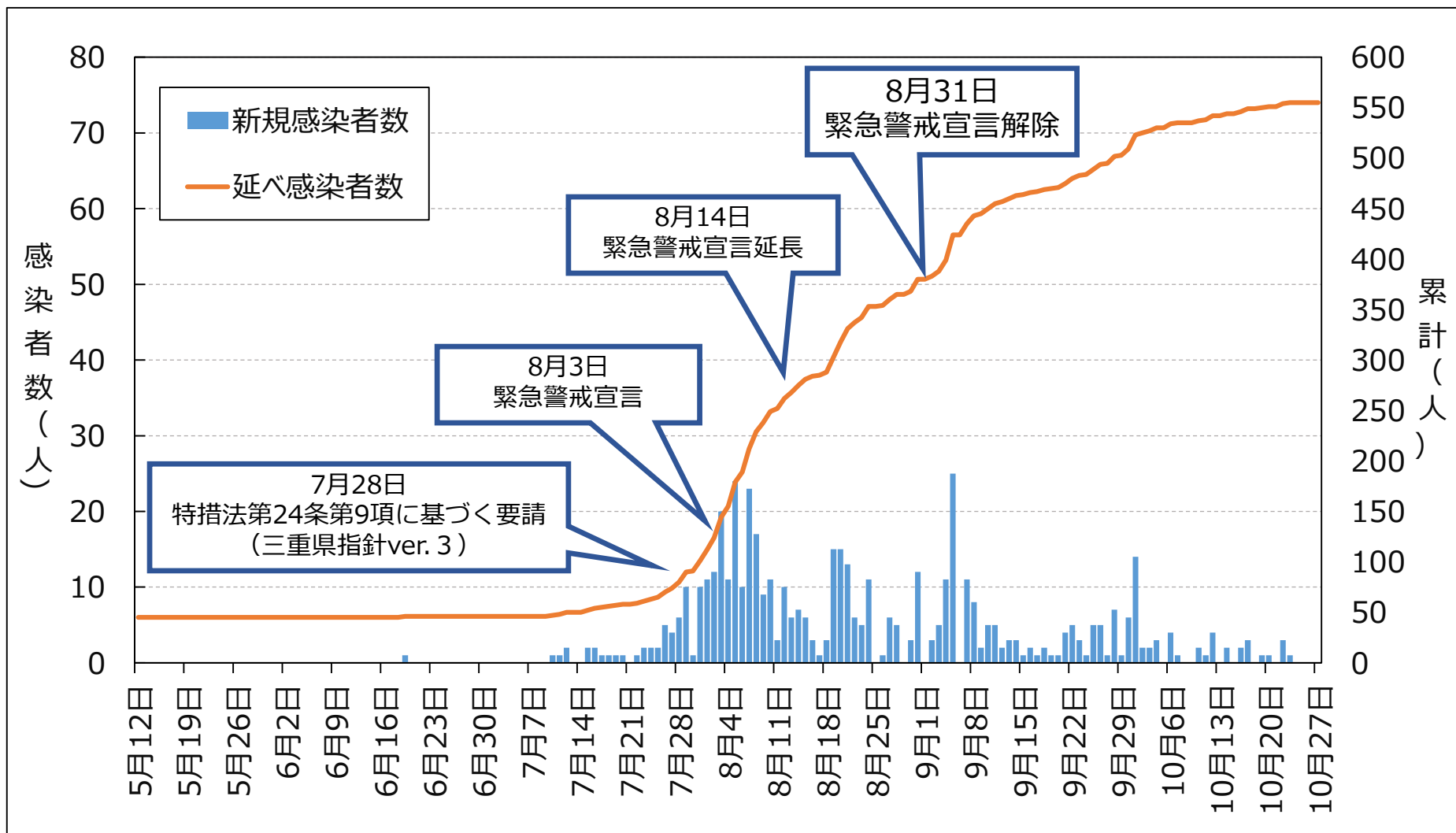


# 新型コロナウイルス感染症の 県内発生状況について

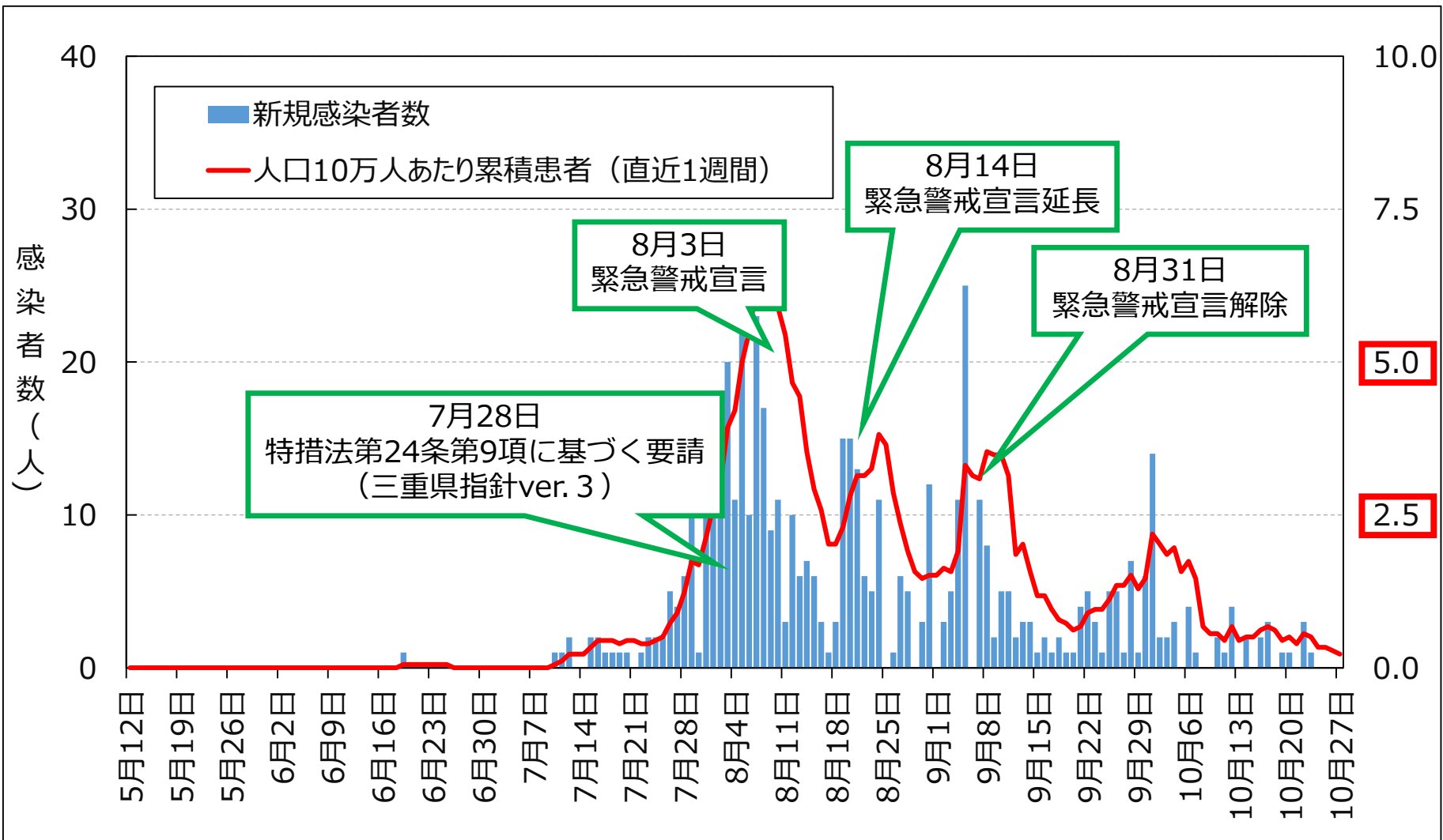
# 県内患者発生状況 (n=555, R2.10.27時点)

◆緊急警戒宣言解除 (8月31日) 以降、クラスター発生による一定の増はあるものの**低減傾向継続**



# 県内患者発生状況 (n=555, R2.10.27時点)

◆人口10万人あたり新規患者数は**9月12日以降2.5人以下を継続**  
**10月21日時点で0.4人**



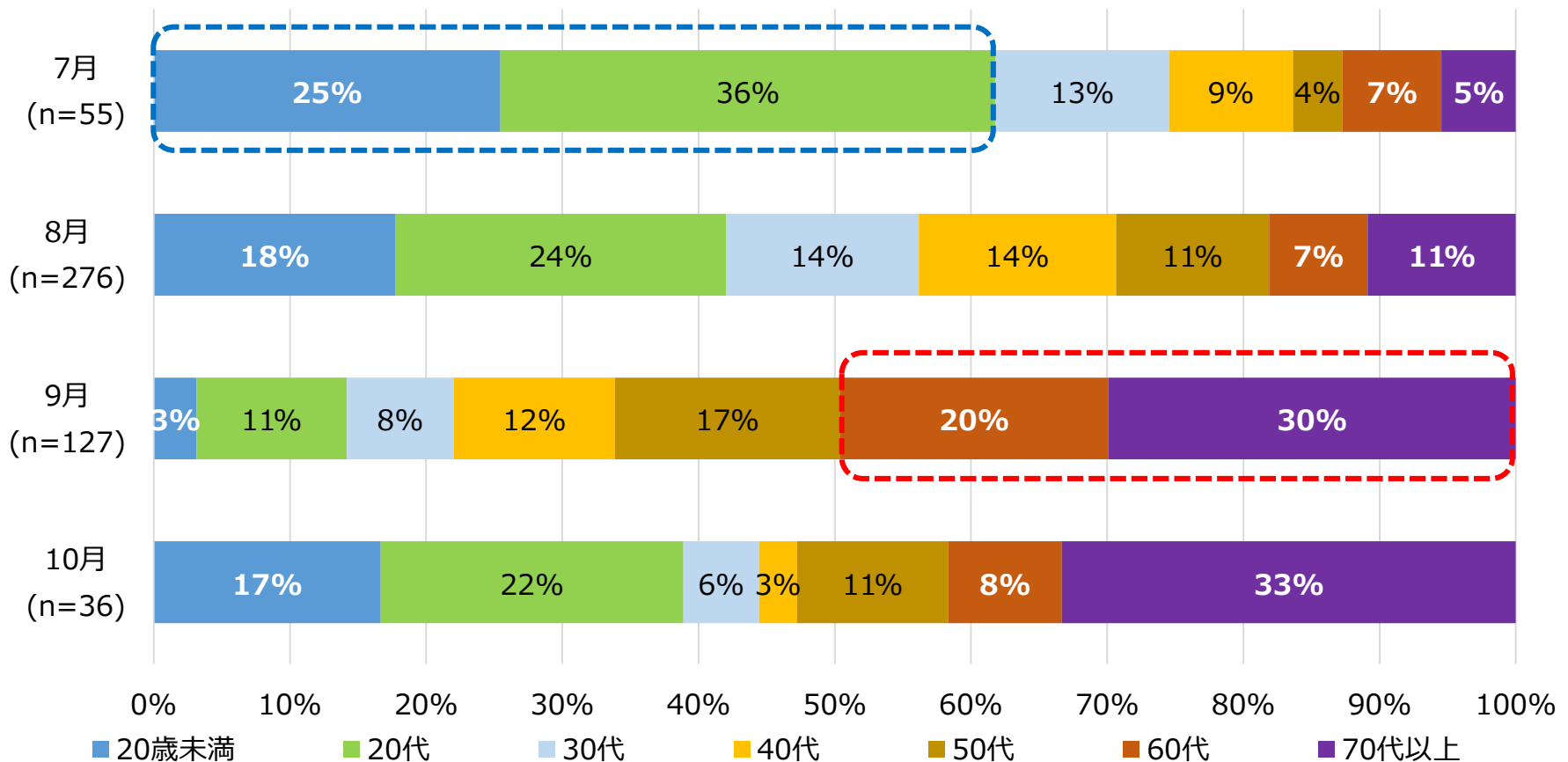
# 県内患者の年齢別発生状況（7/4～10/16）

7月：30歳未満が半数以上（61%）

8月：家族内感染の拡大などにより、各年代で感染

9月：クラスターの影響などにより、60代以上が約半数

10月：再び各年代へ感染が拡大

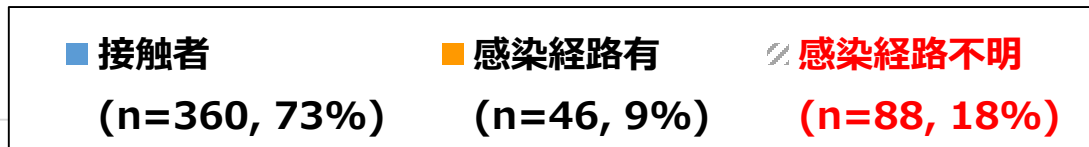


※再陽性事例を除く。

# 感染経路等に関する状況 (週別内訳)

集計期間：7/4~10/16(n=494)

(件数)



120

100

80

60

40

20

0

(割合)

100%

80%

60%

40%

20%

0%

7/4~7/10

7/11~7/17

7/18~7/24

7/25~7/31

8/1~8/7

8/8~8/14

8/15~8/21

8/22~8/28

8/29~9/4

9/5~9/11

9/12~9/18

9/19~9/25

9/26~10/2

10/3~10/9

10/10~10/16

1

0%

100%

8

63%

25%

13%

8

75%

25%

38

50%

34%

16%

111

64%

14%

22%

63

59%

6%

35%

54

80%

2%

19%

33

82%

18%

32

88%

3%

9%

56

98%

2%

14

86%

14%

20

70%

5%

25%

36

83%

6%

11%

9

56%

22%

22%

11

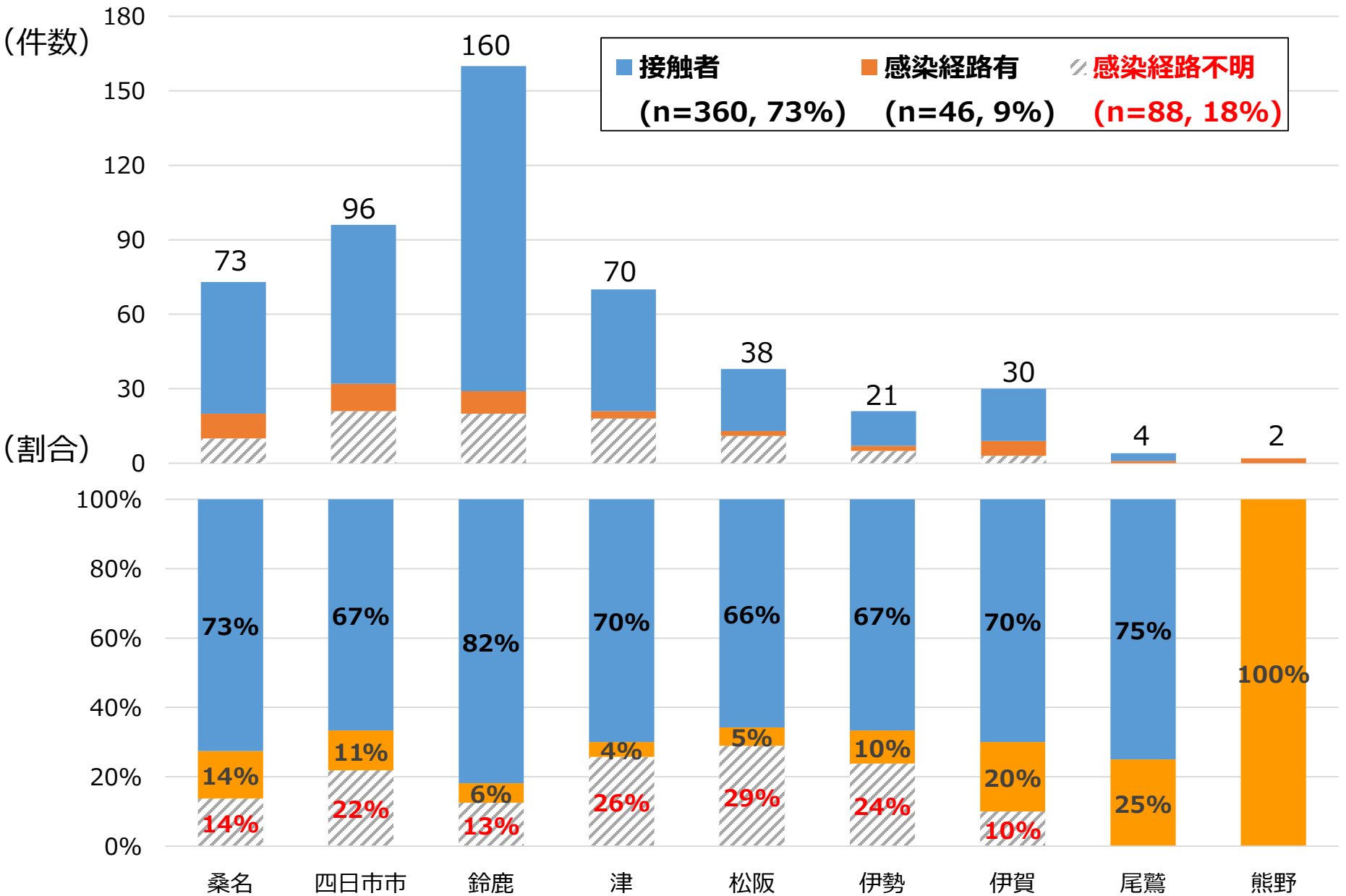
73%

9%

18%

# 感染経路等に関する状況（保健所別内訳）

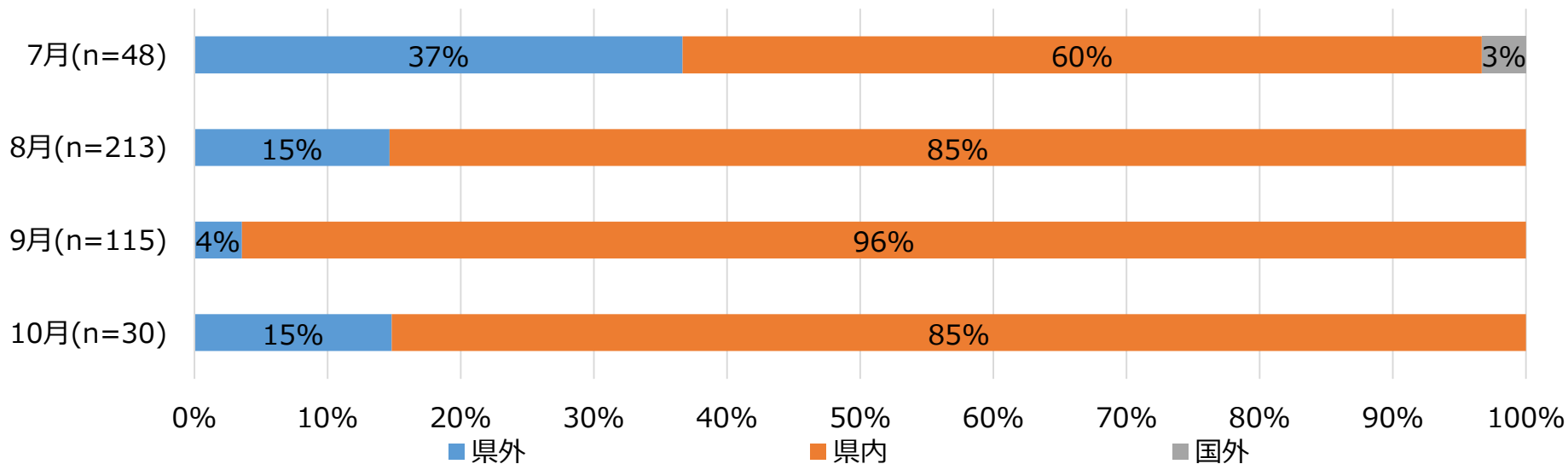
集計期間：7/4~10/16(n=494)



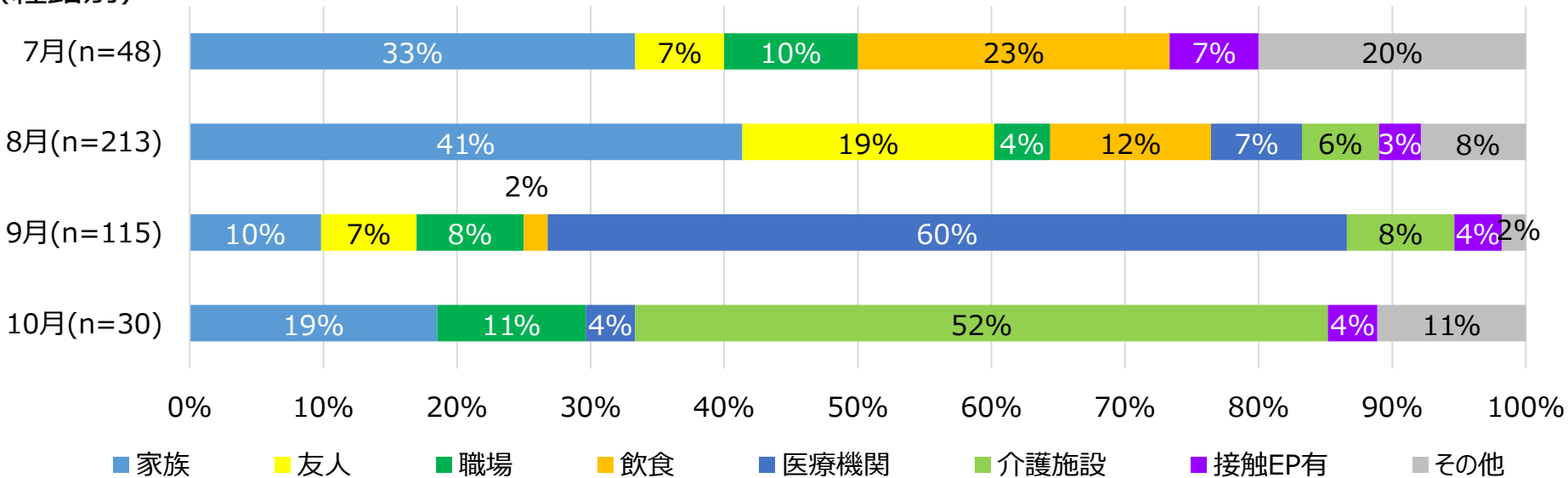
# 感染経路の詳細 (経路不明を除く)

集計期間 : 7/4~10/16(n=406)

(県内外別)

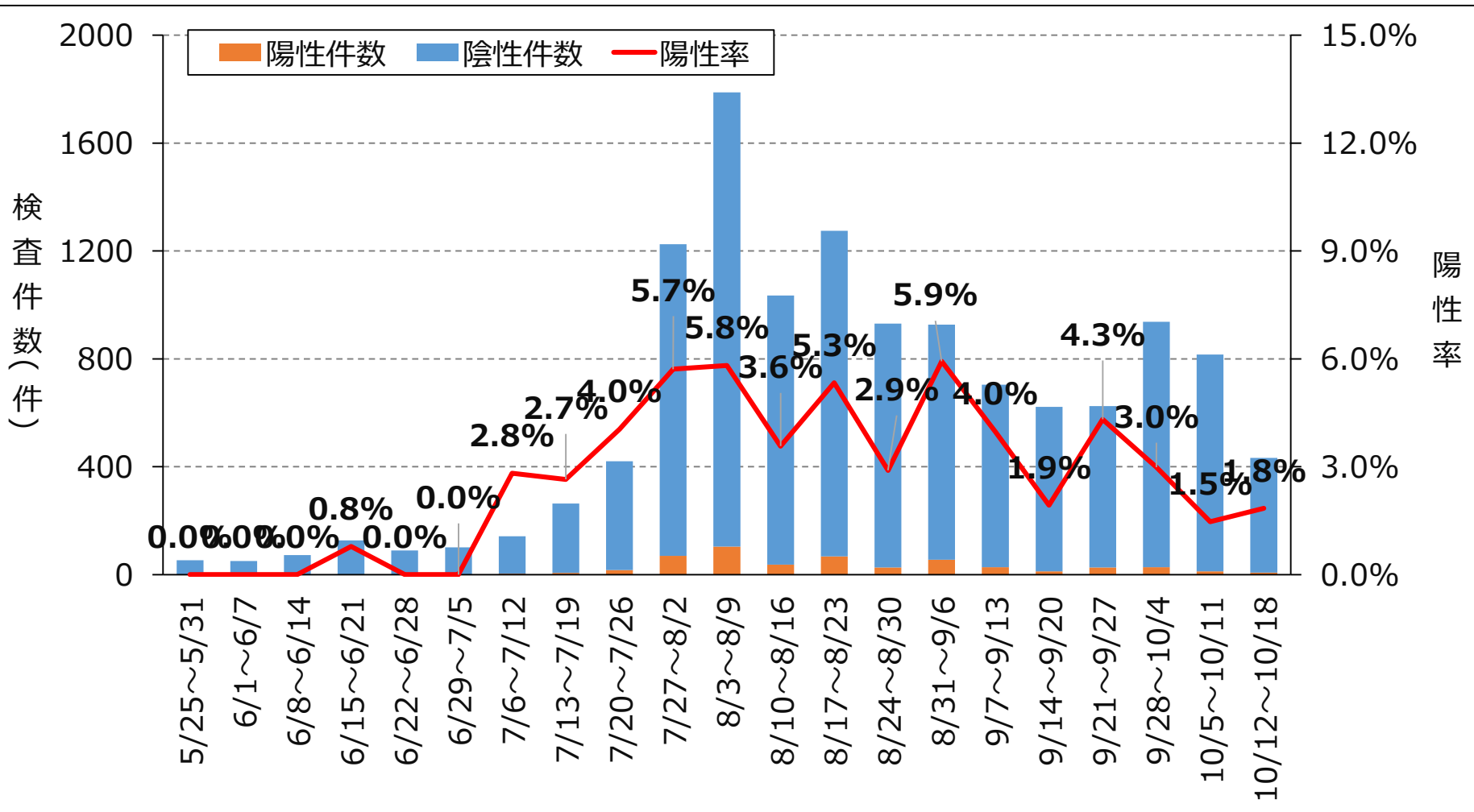


(経路別)



# PCR検査件数・陽性率（R2.10.18時点）

- ◆これまでの検査件数は15,250件で、陽性率は3.6%
- ◆9月上旬以降、クラスター発生等による一時的な増はあるものの、週当たりの陽性率は減少傾向



※10/12~10/18のデータは速報値です



# モニタリング指標等に係る現況

## <県指標> 「三重県指針Ver.6」モニタリング指標（推移）

指標	解除の目安	10月20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日
新規感染事例数 (直近5日間)	3	4	3	4	4	4	3	3
新規感染者数 (直近5日間)	20	8	6	5	6	5	4	4
入院患者数	50	16	15	14	14	13	13	13

※新規感染者数及び入院患者数は、10月6日以降 解除の目安を下回っている。

## <国指標> 分科会から提言された目安となる指標（10/26時点）

	医療提供体制等の負荷				②全療養者数 (人口10万人当たり)	監視体制 ③PCR陽性率	感染の状況		
	①病床のひっ迫具合 (確保病床の占有率)		④新規報告数 (直近一週間の人口10万人当たり)	⑤直近一週間と先週一週間の比較			⑥感染経路不明割合		
	病床全体	うち重症者用病床							
三重県の状況	現時点病床数 4.0%	最大病床数 3.6%	現時点病床数 3.9%	最大病床数 3.9%	0.73	3.6% (10/25公表分まで)	0.28人	0.63倍 先週0.45人	18.7% (10/23時点)
ステージⅢの指標	25%以上	20%以上	25%以上	20%以上	15人以上	10%	15人以上	直近一週間が先週一週間より多い	50%
ステージⅣの指標		50%以上		50%以上	25人以上	10%	25人以上	直近一週間が先週一週間より多い	50%

ステージⅢ…感染者の急増及び医療提供体制における大きな支障の発生を避けるための対応が必要な段階

ステージⅣ…爆発的な感染拡大及び深刻な医療提供体制の機能不全を避けるための対応が必要な段階

# 病床・宿泊療養施設確保状況について（令和2年10月19日時点）

- 本県の患者推計にあたっては、①推計モデルは「**高齢者群中心モデル**」、②実効再生産数は**1.7**、③協力要請のタイミングは基準日から**1日後**とする。
- 感染段階のフェーズ数については、これまでの病床確保の取組から**3フェーズ**とする。
- 病床確保状況については、フェーズ1は**167床**、フェーズ2は**209床**、フェーズ3は**349床**を確保。

## ○推計に係る各要素の選択状況

### ①推計モデル

国から示された「高齢者群中心モデル」は北海道のデータをベースとしたものであり、本県と状況は異なるものの、地方都市のデータを基にしたモデルは提示されていないため、「**高齢者群中心モデル**」を選択します。

### ②実行再生産数

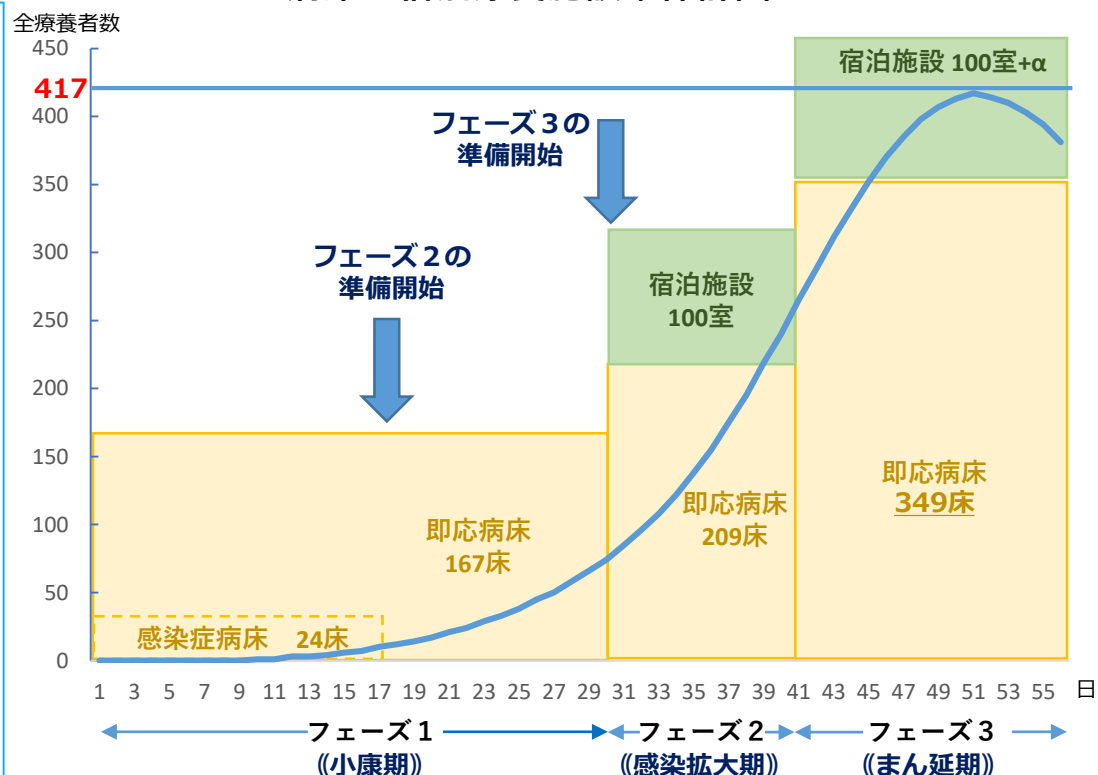
実行再生産数については、3月の東京のデータに基づく1.7を基本とすることとされているため、**1.7**を選択します。

### ③協力要請のタイミング

基準日※から要請までのタイミングについては、地方では3日を基本とされているものの、本県においては、**基準日までに協力要請を行う**こととなります。しかし、推計においては、基準日以降の日数を選択することが必要となるため、**1日後**を選択します。

※人口10万人当たりの週平均新規感染者数（報告数）が2.5人となった日（三重県の場合、週当たり45人の新規感染者）

## 病床・宿泊療養施設確保計画



### 《ピークの状況》

日数	全療養者数	内入院者数	内重症者数	1日最大患者数（日数）
51日	417人	274人	40人	32人（42日）

# 重点医療機関・協力医療機関の指定状況について（令和2年10月19日時点）

- 重点医療機関については、**病棟単位**で新型コロナウイルス感染症**患者又は疑い患者**の受入病床を**確保**し、地域において重点的に患者の受入を行うことのできる医療機関をフェーズごとに指定する。
- 協力医療機関については、新型コロナウイルス感染症**疑い患者の専用病床**を設け、救急対応等において円滑に患者を受け入れることのできる医療機関をフェーズごとに指定する。

## ○指定要件

### ①重点医療機関

- ・**病棟単位**※で新型コロナウイルス感染症患者又は疑い患者用の病床を確保
- ・確保している全ての病床で、**酸素投与及び呼吸モニタリング**が可能
- ・新型コロナ感染症患者又は疑い患者を**重点的に受け入れる**医療機関である

※診療報酬上の看護体制の1単位をもって病棟として取り扱う

### ②協力医療機関

- ・新型コロナウイルス感染症**疑い患者専用**の受入病床を確保
- ・確保している全ての病床で、**酸素投与及び呼吸モニタリング**が可能
- ・受入病床は個室である
- ・新型コロナウイルス感染症患者等が使用するトイレやシャワーへの**動線は、他の患者と独立**

### 《重点医療機関の指定数》

フェーズ	小康期	感染拡大期	まん延期
医療機関数	10	14	<u>19</u>

※入院受入医療機関については、「重点医療機関」と「その他の受入医療機関」の区分があり、「その他の受入医療機関」として入院患者の受入を行う医療機関が複数あります。

### 《協力医療機関の指定数》

フェーズ	小康期	感染拡大期	まん延期
医療機関数	<u>5</u>	<u>5</u>	<u>3</u>